第六講　政治経済学部　芸術論（近代文語文）

次の文を読んで、あとの問いに答えよ。

一体、彫刻というものは一般には解りにくいものである。絵画や音楽ほどの表面の魔力に欠けている様に見られている。人の官能を刺激する要素が至極簡単であって、絵画が七彩の変化により、音楽が七音の紛糾によって神経に快い燃焼を起こさせるのに反して、彫刻はただ［Ａ］があるばかりである。従って単調の感がある。これは仕方がないのである。ほかの事を考えながらでも、絵画や音楽にはある刺激をうける。しかるに、彫刻を味わおうとするには真に心を傾けてかからねばならぬ。予め感応するつもりで催眠術の椅子に腰をかける人の心を持たねばならぬ。信じ切ってかからねばならぬ。でなければ、如何なる名作の前に立ってもすべて石塊や金糞の堆積にほかならぬものとなってしまう。如何なる名作にも驚かぬのは、［Ｂ］に驚かぬ猫の様なものである。あまり面白い事ではない。人間が活きている以上は寸毫でも多く人生の興味をあらゆる方面から味わい、出来るだけ豊富な有り余った内面生活を営みたいと思うのは、遠く埃及時代からの人間の欲望である。従ってこの猫の様にはなりたくない。世間には、彫刻の面白味を解せず、といってむしろ彫刻に対する侮蔑の意を漏らす人がよくあるものであるが、物を味わう力の足りないこれらの人の内面生活の涸寒さを思うと情けなくなるものである。骨の硬くなった日本の中老人にこの種の人が多いが、年の若い今日の人等をしてゆめその跡を踏ましめたくないと思っている。

彫刻というものは実に不思議なものである。人間の理解力を最も大胆に愚弄するものである。絵画が平面に立体を出さしめ、無中に有を生ぜしめるのは、一の錯覚を利器とするにほかならぬ。音楽が刹那刹那の夢の連続で人を酔わしめるのは、人の情緒の波動に力負けをさせる。欺瞞の技巧が余り巧緻に過ぎて不思議の感を起こさしめるに至らない。ひとり彫刻に至っては、「［Ｃ］」という不思議な日本語で形容するよりほか形容のしかたに困るほどのものである。彫刻は何の欺瞞をも許らない。立体的のものを立体的に作っている。また錯覚をも絵画ほど有機的には利用しない。せめて眼球の光りを作るに却って反対にこれを刳りぬくという様な初歩な手品をする人がある位のものである。それ程無器用で人間の狡猾性を離れたものでありながら、最も思い切りよく自然の色彩の感覚を無視している。忘れたのではないかと思わせるほど平気でこの不思議な仕事を敢えてしてい

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

る。この有機的な自然の中から、かくも無神経に、何の賠償もなしに、「線」の調律ばかりを抽（ひ）き出して来る人間の能力はほかに一寸（ちょっと）類がない。

そこで、彫刻は最も原始的のもので、やがて絶滅すべきものだ、などと地球の運転を心配する様な人が判断する事もある。しかるに、彫刻の面白味というものは、この原始的で、大道手品の様に無器用で、あからさまな、大胆な、少し智慧の足らない様な、図々しい所に生命があるのである。この点を認めて彫刻に向かわなければ彫刻の立つ瀬はなくなってしまう。否、見る人の立つ瀬がなくなってしまうのである。彫刻に向かって絵画や音楽に求める様な表面の複雑な情調や官能の生理的跳躍の快さを求めるのは無理である。彫刻はもっと灰汁（あく）が抜けているのである。原始的であると同時に、というよりはむしろ原始的であるから、最も進んだ現代人の心の奥の叫び声と共鳴する唯一の芸術である。現代人の心は中世期を踏台にして遠くハイエログリフ文字の活用されていた時代と相呼応している。最も文明の進んだ、最も物の解った仏蘭西（フランス）の芸術の中に、ロダンの彫刻あって現代人を魔酔し去っているのは、彫刻のこの性質を最もよく説明しているのである。一見不自由の様に見えた彫刻の訥弁（とつべん）も、現代の核に突き入ると案外な雄弁に化するのである。冷淡に構えている人にとっては彫刻はあくまで冷やかである。一旦自分を打ち込んだらこれ程心を蕩（とろ）かすものはない。D<u>彫刻というものと朋友の交を持続する事の出来たのは昔の人の事だ。</u>「あかの他人か、情人か。」彫刻の権威と魔力とはこう直截（ちょくせつ）に叫ぶのである。

比較という冷ややかな尺度や、錯覚というおめでたい眼鏡を手にして彫刻に向かう位なら、彫刻は見ぬ方がいい。石の人間や銅（あかがね）の人間は余り自然と遠ざかり過ぎている。眼に見た自然を彫刻に見ようとするのは諦めねばならぬ。仏蘭西の文学家ユイスマンスが蠟人形を彫刻に輸入しようとした考えの甚だしく偏しているのはその後の彫刻界の事実が立派に証明している所である。彫刻家が裸体を好んで作るのも此所（ここ）に根があるのである。色彩と触感との最も複雑した今日の人間の服装などを彫刻で再現しようなどとするのは、無駄な努力を費やす事になるからである。その上、人間の裸体の不思議なあからさまの感じが、その色彩を失って、彫刻の原始的な面白味とぴたりと合うからである。自然と遠ざかり過ぎている石の人間や銅（あかがね）の人間や木の人間を見ての興味は、自然の再現についての興味でなくして、自然の魂を幻に見る興味である。自然の気息（いき）を直ちに耳に聞く興味である。自然の脈拍を遽然（きょぜん）として指に触るる興味である。この時、形の再現という意味は少しも伴っておらぬ。「具体的な抽象美」というと、ほとんど意を成さぬ考えの様だが、彫刻は実にこの不思議な理屈を雑作もなく実現させるのである。よく幽霊に抱か

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

れたという人がある。形も見えぬ、色も見えぬ、煙の様なものが来て体を包むと思うと、突然胸に烈しい鼓動を覚えるという話である。彫刻の人に与える感じは恰度（ちょうど）この突然胸に烈しい鼓動を覚える感じである。その形は一種の記号的な原始の姿でいながら、人に加える刺激は不思議な衝心の威力をもっている。物の魂を抽（ぬ）き取って来て、前後の考えなしに、何の装飾もなしに、人の眼前に放擲（ほうてき）した様なものである。だから、自然の形の再現でないという事をよく承知して置かねばならない。爪の形状を問い、腕の太さを尋ねるのは末の末の話である。

（注）「ハイエログリフ」……ヒエログリフ（古代エジプトの象形文字）。
「遽然」……あわただしいこと。ここでは、なまなましく、の意味を含む。

問1　空欄［A］に入る最も適当なものを、次のイ～ニの中から選べ。

イ　空間を劃（かぎ）る輪廓の線の波動　　ロ　時間を截断（せつだん）した刹那の物の表情

ハ　自然を欺（あざむ）く巧緻な形の技巧　　ニ　立体を彫琢（ちょうたく）する単調な面の連続

問2　空欄［B］には、慣用的な言い回しを踏まえた漢字二字の語が入る。**楷書**で正確に書け。

問3　空欄［C］には、問題文中にある四字の形容詞が入る。正確に書け。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問４　傍線部Ｄはなぜそのようにいえるのか、その理由として最も適当なものを、次のイ〜ニの中から選べ。
イ　昔の人にとって彫刻は信仰の対象であり、朋友に対するような親しみと敬意をもって接するのが常だったから。
ロ　昔の人のほうが彫刻に全身全霊で打ち込み、朋友と対話するように、その語りかける声に耳を傾けることができたから。
ハ　現代人は、孤独のなかで彫刻と厳しく向き合うので、どんな朋友もその間に介在することができないから。
ニ　現代人に対して彫刻は、通り一遍の関与を許さないので、朋友に対するような穏やかさで対座することができないから。

問５　問題文における筆者の見解と合致するものを、次のイ〜ホの中から一つ選べ。
イ　彫刻は、絵画や音楽のような官能を刺激する魔力に欠け、表面的には単調であることをまぬがれないが、見ることのできない内部においては、きわめて繊密で複雑に構成されている。
ロ　彫刻にはフランスのロダンをはじめとして、古来名作として知られている作品も少なくないが、それらも結局は石塊や金糞の堆積にすぎないという冷静な視線も、一方では必要である。
ハ　彫刻から、現代人が激しい胸の鼓動を覚えるのは、文明の進んだ現代人であればあるほど、心の奥に潜んでいる叫び声が、彫刻のもっている原始的な性格と呼応し、共鳴するからである。
ニ　彫刻が人間の裸体像を好んで制作するのは、石や銅や木などの素材が色彩的で複雑な服装の再現に適さず、むしろ何の装飾もない人間の肉体をありのままに描くことを得意とするからである。
ホ　彫刻がめざすのは、自然の形を再現することではなくその魂を表現することであるから、表現をつきつめていけばいくほど、実際の形を離れて一種の記号的な原始の姿をとるようになる。

問６　問題文の筆者は、近代の彫刻家・詩人で、詩集には『道程』『智恵子抄』などの作品がある。その姓名を漢字で答えよ。
解答は、**楷書**で正確に書け。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　知識モノ解説

文学史・人物解説

●筆者　高村光太郎＝たかむら　こうたろう（一八八三〜一九五六）東京生まれ、東京美術学校（東京芸術大学）彫刻科卒。父親は、高村光雲（こううん）で、東京美術学校彫刻科教授

●オーギュスト・ロダン（一八四〇〜一九一七）フランスの彫刻家。『地獄の門』および『考える人』の彫刻はあまりに有名

●ユイスマンス（一八四八〜一九〇七）フランスの世紀末的作家の代表。主著『さかしま』

語句

官能＝かんのう→性的、エロチックなものを意味することもあるが、本文では広く感覚器官のはたらきのこと

紛糾＝ふんきゅう→もつれ、からまること

寸毫＝すんごう→極めてわずかなこと。一寸とほぼ同義

涸寒＝こかん→内容が貧弱であること。涸は、干からびるという意味

愚弄＝ぐろう→人を馬鹿にしてからかうこと

刹那＝せつな→きわめて短い時間。瞬間のこと

欺瞞＝ぎまん→人をあざむき、だますこと

巧緻＝こうち→巧みで細部までよく行き届いていること

狡猾＝こうかつ→ずるがしこいこと

訥弁＝とつべん→雄弁の対義語で、話し方がなめらかでないこと

放擲＝ほうてき→打ち捨てること。何もしないでほうっておくこと

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第六講

次の傍線部にあたる漢字を、次の各選択肢から選びなさい。

（ア）人のカン能を刺激する　①感　②観　③官　④歓　⑤幹

（イ）サイ眠術の椅子に座る　①再　②祭　③宰　④栽　⑤催

（ウ）彫刻に対するブ蔑の念　①武　②部　③侮　④撫　⑤悔

（エ）技巧が巧チに過ぎる　①知　②智　③値　④置　⑤緻

（オ）バイ償金を支払う　①賠　②陪　③倍　④培　⑤楳

（カ）無シン経な振る舞い　①神　②心　③信　④真　⑤深

（キ）冷タンな様子を見せる　①短　②嘆　③淡　④担　⑤単

（ク）血圧と脈ハクを測定する　①伯　②博　③迫　④拍　⑤泊

（ケ）学説をユウ弁に語る　①雄　②勇　③悠　④優　⑤宥

（コ）大胆で不キ用な手つき　①器　②気　③揮　④鬼　⑤危

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

政治経済学部　文学史（近代以降）　過去問題総復習

この総復習を通じて、政経学部で出題される文学史問題の水準がどんなものか学べます。はっきり言いまして、難しくありません。〝常識〟は言い過ぎですが、標準的な教養レベルです。高校などで配布される**『国語便覧』**に太字や赤文字で記されているような**最重要事項**ばかりと言えます（正解ばかりでなく選択肢として出てくるものも）。一方、こうした文学史分野の知識があやしい受験生は、解説解答を通じて、知識を拡張、補強してください。選択肢で登場しているものも知識の内にしてくださいね。なお、過去問の水準に合わせて、**予想問題**もつけました。これらは、是非ともマスターした上で試験に臨んでもらいたいものばかりです。

その１　谷崎潤一郎(たにざきじゅんいちろう)の作品を選べ。

イ　刺青(しせい)　ロ　草枕(くさまくら)　ハ　或(あ)る女(おんな)　ニ　夜明(よあ)け前(まえ)　ホ　暗夜行路(あんやこうろ)

その２　徳富蘆花(とくとみろか)の作品を選べ。

イ　細雪(ささめゆき)　ロ　檸檬(れもん)　ハ　不如帰(ほととぎす)　ニ　虞美人草(ぐびじんそう)　ホ　金色夜叉(こんじきやしゃ)

その３　与謝野鉄幹(よさのてっかん)・晶子(あきこ)の新詩社が刊行していた雑誌を選べ。

イ　ホトトギス　ロ　心の花　ハ　明星(みょうじょう)　ニ　新思潮(しんしちょう)　ホ　文学界

その４　夏目漱石(なつめそうせき)の晩年、大正期に入ってから書かれた小説を二つ選べ。

イ　三四郎(さんしろう)　ロ　坊(ぼっ)ちゃん　ハ　道草(みちくさ)　ニ　明暗(めいあん)　ホ　吾輩(わがはい)は猫(ねこ)である

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その5　武者小路実篤が活動した文学グループは何か。

イ　自然派　ロ　白樺派　ハ　明星派　ニ　新感覚派　ホ　新理知派

その6　夏目漱石の「修善寺の大患」以後の作品は何か。

イ　虞美人草　ロ　三四郎　ハ　坊ちゃん　ニ　明暗　ホ　吾輩は猫である

その7　永井荷風の作品を選べ。

イ　暗夜行路　ロ　細雪　ハ　濹東綺譚　ニ　夜明け前　ホ　李陵

その8　日本の自然主義文学運動を代表する作家は誰か。

イ　尾崎紅葉　ロ　志賀直哉　ハ　田山花袋　ニ　永井荷風　ホ　横光利一

その9　柳宗悦は、武者小路実篤・志賀直哉らと同人誌を創刊し、人道主義的な立場から芸術運動に携わった。その雑誌名を選べ。（もともとは選択肢なし）

イ　新思潮　ロ　白樺　ハ　歴程　ニ　四季　ホ　明星

その10　俳句・短歌の革新者として知られる明治の文学者は誰か。（もともとは選択肢なし）

イ　夏目漱石　ロ　二葉亭四迷　ハ　坪内逍遥　ニ　正岡子規

また、その筆者の作品を選べ。

イ　赤光　ロ　墨汁一滴　ハ　みだれ髪　ニ　海潮音　ホ　若菜集

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その11　森鷗外（もりおうがい）の作品を三つ選び、成立の早い順に並べよ。

イ　浮雲（うきぐも）　ロ　雁（がん）　ハ　三四郎（さんしろう）　ニ　渋江抽斎（しぶえちゅうさい）　ホ　舞姫（まいひめ）

その12「山路（やまみち）を登りながら、こう考えた。智（ち）に働けば角（かど）が立つ。情に棹（さお）させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい」ではじまる、夏目漱石（なつめそうせき）初期の作品名を選べ。（もともとは選択肢なし）

イ　草枕（くさまくら）　ロ　明暗（めいあん）　ハ　三四郎（さんしろう）　ニ　それから　ホ　門（もん）

その13　松尾芭蕉（まつおばしょう）の臨終場面を描いた小説『枯野抄（かれのしょう）』を書いた大正期の作家は誰か。（もともとは選択肢なし）

イ　芥川龍之介（あくたがわりゅうのすけ）　ロ　田山花袋（たやまかたい）　ハ　川端康成（かわばたやすなり）　ニ　大江健三郎（おおえけんざぶろう）

その14　哲学者、和辻哲郎（わつじてつろう）の著作を次の中から二つ選べ。

イ　東洋の理想　ロ　日本への回帰　ハ　風土（ふうど）　ニ　出家とその弟子

ホ　陰翳礼讃（いんえいらいさん）　ヘ　鎖国（さこく）　ト　「いき」の構造

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

政治経済学部　文学史（近代以降）予想問題

これらの予想問題演習を通じて、文学史の基礎教養を身につけて、合格に向け前進しよう。なお、過去問の復習や記憶の確認にもなるように工夫してあります。存分に活用してください。

その1　『あこがれ』『一握の砂』『悲しき玩具』などの詩集や歌集を残した近代の歌人は誰か。

イ　夏目漱石　ロ　森鷗外　ハ　石川啄木　ニ　武者小路実篤

その2　夏目漱石の門下生で、『羅生門』『鼻』『芋粥』など日本の古典を下じきにした作品を書いた小説家は誰か。

イ　斎藤茂吉　ロ　樋口一葉　ハ　柳田国男　ニ　芥川龍之介

その3　近代の文学理論書で言文一致を説いたものはどれか。

イ　『歌よみに与ふる書』　ロ　『小説神髄』　ハ　『小説の方法』　ニ　『「いき」の構造』

その4　日本人初のノーベル文学賞受賞者は誰か。

イ　川端康成　ロ　湯川秀樹　ハ　大江健三郎　ニ　村上春樹

その5　「東海の小島の磯の白砂に／われ泣きぬれて／蟹とたはむる」などの短歌を収録した石川啄木の歌集はどれか。

イ　『智恵子抄』　ロ　『道程』　ハ　『春と修羅』　ニ　『一握の砂』

その6　「のど赤き玄鳥ふたつ屋梁にゐて足乳根の母は死にたまふなり」などの短歌を収録した斎藤茂吉の歌集はどれか。

イ　『赤光』　ロ　『みだれ髪』　ハ　『別離』　ニ　『鍼の如く』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その7　「鶏頭(けいとう)の十四五本もありぬべし」などの写生句で知られる正岡子規(まさおかしき)が創刊に関わった雑誌はどれか。

イ　『文学界』　ロ　『新思潮(しんしちょう)』　ハ　『ホトトギス』　ニ　『歴程(れきてい)』

その8　明治時代、夏目漱石(なつめそうせき)の初期の作品で、「親譲りの無鉄砲で小供(こども)の時から損ばかりしている」ではじまる小説はどれか。

イ　『細雪(ささめゆき)』　ロ　『それから』　ハ　『こころ』　ニ　『坊(ぼっ)ちゃん』

その9　明治時代、森鷗外(もりおうがい)の作品で、ドイツ留学の経験をふまえた小説はどれか。

イ　『渋江抽斎(しぶえちゅうさい)』　ロ　『高瀬舟(たかせぶね)』　ハ　『舞姫(まいひめ)』　ニ　『風土(ふうど)』

その10　大正時代、白樺派(しらかばは)の志賀直哉(しがなおや)によって書かれた自伝的な小説はどれか。

イ　『城(き)の崎(さき)にて』　ロ　『蒲団(ふとん)』　ハ　『蟹工船(かにこうせん)』　ニ　『李陵(りりょう)』

その11　昭和初期、四季(しき)派に属する中原中也(なかはらちゅうや)によって発表された詩集はどれか（二つ）。

イ　『山羊(やぎ)の歌(うた)』　ロ　『在(あ)りし日(ひ)の歌(うた)』　ハ　『一握(いちあく)の砂(すな)』　ニ　『若菜集(わかなしゅう)』

その12　日本人としては二人目のノーベル文学賞受賞者である大江健三郎(おおえけんざぶろう)の小説はどれか。

イ　『沈黙(ちんもく)』　ロ　『飼育(しいく)』　ハ　『伊豆(いず)の踊子(おどりこ)』　ニ　『雪国(ゆきぐに)』

その13　明治時代、雑誌「ホトトギス」に掲載された夏目漱石(なつめそうせき)のデビュー作はどれか。

イ　『吾輩(わがはい)は猫(ねこ)である』　ロ　『三四郎(さんしろう)』　ハ　『明暗(めいあん)』　ニ　『枯野抄(かれのしょう)』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その14　大正時代、『今昔物語集』などの古典をもとにして、人間心理を表現した芥川龍之介の作品はどれか。

イ　『檸檬』　ロ　『山椒魚』　ハ　『鼻』　ニ　『風立ちぬ』

その15　川端康成の代表作で、「道がつづら折りになって、いよいよ天城峠に近づいたと思う頃」ではじまる作品はどれか。

イ　『雪国』　ロ　『陰翳礼讃』　ハ　『伊豆の踊子』　ニ　『或る女』

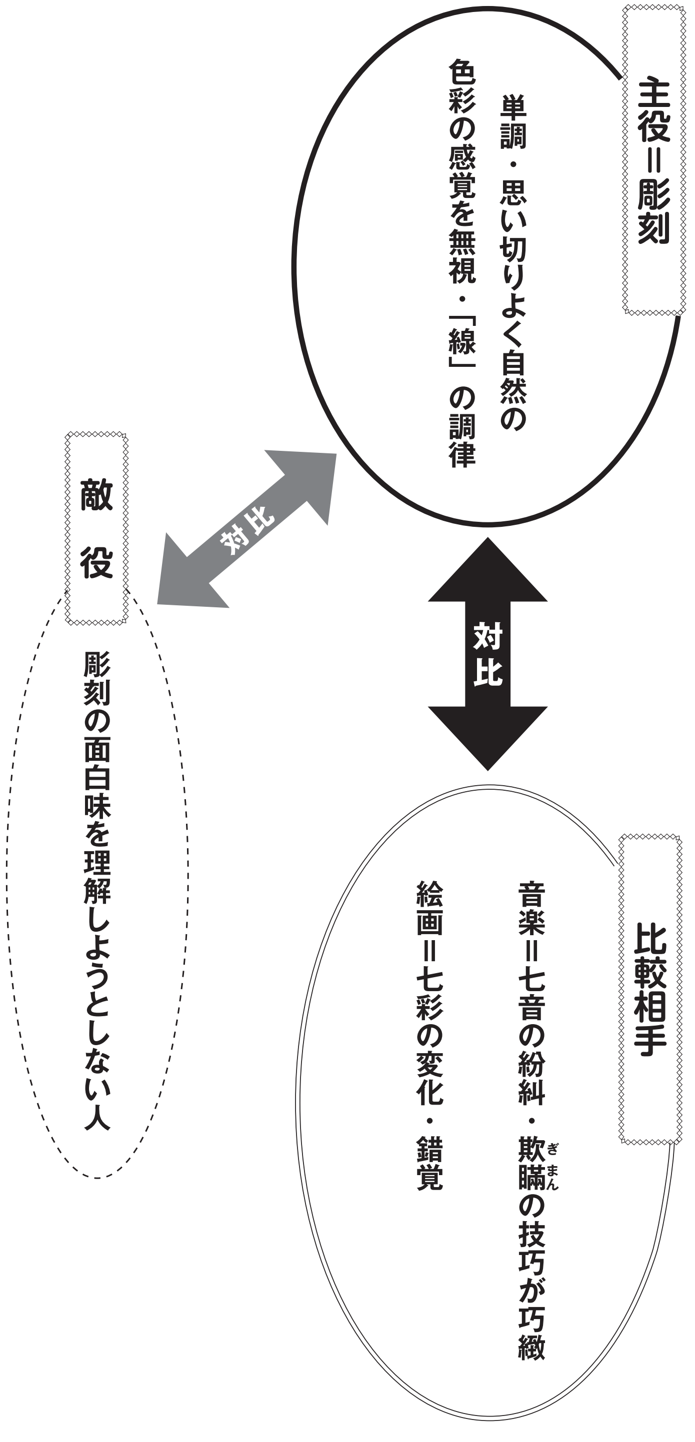
その16　東北地方の農学校に勤めつつ多くの詩を残した宮沢賢治の童話はどれか。

イ　『銀河鉄道の夜』　ロ　『暗夜行路』　ハ　『田舎教師』　ニ　『蒲団』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　政治経済学部　芸術論（近代文語文）

《本文の対比構造》



© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

《解説》

問１《空欄補充・選択肢》

主役である彫刻の説明になるように空欄補充をします。しかも空欄前後で、絵画や音楽と対比させています。「絵画や音楽ほどの表面の魔力に欠けている～人の官能を刺激する要素が至極簡単」、「絵画が七彩の変化により、音楽が七音の紛糾によって神経に快い燃焼を起こさせるのに反して、彫刻は」と語っています。ニの「～単調な面の連続」を選んでしまった人がいるかもしれませんが、×です。なぜなら、空欄の直後に「従って単調の感がある」とあるからです。ニを入れてしまうと〝単調、従って単調〟という同語反復（トートロジーと言います）になってしまいます。同語反復は説明としては不適切で、言い換えてこそ十分な説明になります。〝焼きうどんとは、焼いたうどんだ〟と言っても説明になっていないのと同様です。〝通常、湯がいてのち、ダシの効いたスープとともに供するところを、鉄板で炒めて主にソースで味付けしたうどん〟と言い換えれば、説明です（あー お腹空いてきた）。

ロの「時間を截断（せつだん）した刹那～」はどうか。「刹那」は、次の段落で「音楽が刹那刹那の夢の連続で人を酔わしめる」とあるように、音楽側キーワードです。したがって、対比混乱の誤りですね。

ハの「自然を欺（あざむ）く巧緻な形の技巧」はどうか。ここでは〝自然のありのまま⟷ありのままではない加工〟などは比べられていません。正しい対比喪失の誤りです。また「巧緻な」では、手の込んだ巧みさになってしまい、「簡単」「単調」と矛盾します。事実、第二段落で、音楽について「技巧が余り巧緻に過ぎて」とあります。「巧緻」は比較相手を表現する言葉ですから、対比混乱の誤りと言えます。イの「空間を劃（かぎ）る輪廓の線の波動」が正解です。第二段落の最後に、「『線』の調律ばかりを抽（ひ）き出して来る」という記述があります。人間の銅像を思い浮かべてください。絵画ならさまざまな着色や濃淡で表現するところを、彫刻はドンと人間の形があるのみです。馬にまたがった人の像もそうでしょ。人馬いっしょになったカタマリがズドンとそこにあるのみです。

問２《空欄補充・慣用句の知識問題》

彫刻の魅力がわからない人、わかろうとしない人を猫に例えて、「如何なる名作にも驚かぬのは、［B］に驚かぬ猫の様なもの

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

である」と表現しています。〝猫に鰹節〟なら、その価値がわかり、まっしぐらに飛びつくでしょう（だから、〝猫に鰹節〟は油断していると食べられちゃうぞ、注意しろという意味）。正解は、〝猫に小判〟という慣用表現をふまえて、「小判」となります。
他に〝猫にまたたび〟は、相手の大好物を与えて、メロメロにすること。〝猫の額〟は、土地が狭いことの例え。〝猫も杓子も〟は、どいつもこいつも、そろいもそろって、の意味。〝猫を被る〟は、自分の本性を隠して、大人しくふるまうこと。〝猫跨ぎ〟は、猫でさえもまたいで素通りするまずい魚のことです。

問３《空欄補充・抜き出し》

主役である彫刻を表現する「不思議な日本語」を本文から抜き出します。同じ段落の後半に「不器用」「自然の色彩の感覚を無視」「無神経」など一見すると否定的だけれども彫刻の大胆さをうまく言い表す表現が出てきます。ただし、「四字の形容詞」という指定に合いません。次の段落にやっと出てきます。「彫刻の面白味というものは、この原始的で、大道手品の様に無器用で、あからさまな、大胆な、少し智慧の足らない様な、図々しい所に生命があるのである」がそれです。というわけで、「図々しい」が答えです。

問４《傍線部説明・選択肢》

筆者は、彫刻の不思議な魔力について、一生懸命に語っています。第一段落では、「彫刻を味わおうとするには真に心を傾けてかからねばならぬ」「信じ切ってかからねばならぬ」としています。一方で、彫刻の面白味を理解しない人のことを、小判の価値がわからない「猫の様なもの」として批判しています。こういう「冷淡に構えている人にとっては彫刻はあくまで冷やか」です。また、傍線直後の表現によれば、「あかの他人」のような存在としてしか彫刻とは付き合えないわけです。でも、ひとたび「自分を打ち込んだらこれ程心を蕩かすものはない」のが彫刻です。そういうことができる人にとっては、彫刻は「情人（愛人のことです！）」になるのです。現代人にとってはもう、彫刻に対するときは「あかの他人か、情人か。」の二通りの極端な関わり方しかない、と言っているのです。「昔の人」にとっては、彫刻は普通の友だち、つまり「朋友」だったのに、現代人にとってはそうではないということです。したがって、ニ「現代人に対しては彫刻は、通り一遍の関与を許さないので、朋友に対する

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ような穏やかさで対座することができない」が正解です。

他の選択肢を吟味してみましょう。イは、「朋友に対するような親しみと敬意をもって接する」はOKですが、前半の「彫刻は信仰の対象であり」が×です。これじゃ仏像かマリアさまです。「信じ切って」を文字通りとってしまった文脈喪失の誤りです。

ロはどうか。「昔の人のほうが彫刻に全身全霊で打ち込み、朋友と対話するように」が×です。「全身全霊」のような熱中を求めるのは現代人に対してです（それができなければあかの他人でいるほかない）。むしろ、昔の人は「朋友」、友だちのように普通に彫刻と付き合いをもてた、ということですから。これは対比混乱の誤りです。

ハは、まず「孤独のなかで」が×です。〝ひとりっきり⟷仲間がたくさん〟という対比は本文にはありませんから、正しい対比喪失の誤りです。さらに「どんな朋友もその間に介在することができない」は、本文の「朋友」の使われ方から外れています。文脈喪失の誤りです。見る人にとっては彫刻は、他人か恋人かという話をしているのに、間に入る人として「朋友」を出してしまってますからね。

問５《全文の理解・選択肢》

本文では、彫刻について「原始的であるから、最も進んだ現代人の心の奥の叫び声と共鳴する唯一の芸術である」としています。さらに「現代人の心は中世期を踏台にして遠くハイエログリフ文字の活用されていた時代と相呼応している。最も文明の進んだ、最も物の解った仏蘭西（フランス）の芸術の中に、ロダンの彫刻あって現代人を魔酔し去っているのは、彫刻のこの性質を最もよく説明しているのである。」とまで言っています。したがって、ハが正解です。

他の選択肢を吟味してみましょう。イは「表面的には〜が、見ることのできない内部においては」という対比を出していますが、本文にはない対比です。正しい対比喪失の誤りです。しかも「見ることのできない内部においては、きわめて繊細で複雑に構成」が笑えます。上野の西郷どんの銅像も、渋谷のハチ公の銅像も中身は複雑なからくり人形だったのかよ、というような選択肢です。ロはどうか。「石塊や金糞の堆積にすぎないという冷静な視線も、一方では必要である」がしらじらしー！　これは筆者が批判していた立場ですよね。彫刻がわからないヤツラ（おっと表現が乱暴になってしまいました）、彫刻がおわかりになれない方たちですよね。これぞ対比混乱の誤り！

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ニは「石や銅や木などの素材が色彩的で複雑な服装の再現に適さず」と材料のせいにしてますが、そもそも「再現」する意図、「興味」はないのです。物理的スリカエの誤りですな。ホは「表現をつきつめていけばいくほど、実際の形を離れて」が×です。「自然の形の再現」は、趣味・興味・意図にはありませんが、だからといって「実際の形を離れ」る結果になるとはかぎりません。はじめから興味にないのですから。「自然の形の再現でない」からといって「つきつめて」いった先が、変形やデフォルメだということにはならないよ、ということです。記述に反する誤りです。

問6《文学史の知識・記述》

文学史の知識を問うてくるのは、文学部ではなく、政治経済学部の伝統です。

模範解答

問1＝イ　問2　小判　問3　図々しい　問4＝ニ　問5＝ハ　問6　高村光太郎

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　解答　第六講

（ア）③　（イ）⑤　（ウ）③　（エ）⑤　（オ）①
（カ）①　（キ）③　（ク）④　（ケ）①　（コ）①

解答漢字一覧

（ア）官能　（イ）催眠術　（ウ）侮蔑　（エ）巧緻　（オ）賠償
（カ）無神経　（キ）冷淡　（ク）脈拍　（ケ）雄弁　（コ）不器用

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

政治経済学部　文学史（近代以降）過去問題総復習の解答

★正解は、**囲んだもの**です。その他、知っておいてもらいたいものについては、吹き出しをつけました。

その１　谷崎潤一郎の作品を選べ。

- **イ　刺青**
- ロ　草枕　（夏目漱石・余裕派）
- ハ　或る女　（有島武郎・白樺派）
- ニ　夜明け前　（島崎藤村・自然主義）
- ホ　暗夜行路　（志賀直哉・白樺派）

その２　徳富蘆花の作品を選べ。

- イ　細雪　（谷崎潤一郎・耽美派）
- ロ　檸檬　（梶井基次郎）
- **ハ　不如帰**
- ニ　虞美人草　（夏目漱石・余裕派）
- ホ　金色夜叉　（尾崎紅葉・硯友社）

その３　与謝野鉄幹・晶子の新詩社が刊行していた雑誌を選べ。

- イ　ホトトギス　（正岡子規・高浜虚子など）
- ロ　心の花
- **ハ　明星**
- ニ　新思潮　（芥川龍之介など）
- ホ　文学界　（北村透谷など）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その4　夏目漱石の晩年、大正期に入ってから書かれた小説を二つ選べ。

イ　三四郎
ロ　坊ちゃん
ハ　道草
ニ　明暗　（未完の遺作）
ホ　吾輩は猫である　（デビュー作）

その5　武者小路実篤が活動した文学グループは何か。

イ　自然派　（島崎藤村・田山花袋など）
ロ　白樺派
ハ　明星派　（与謝野鉄幹・晶子など）
ニ　新感覚派　（川端康成・横光利一など）
ホ　新理知派

その6　夏目漱石の「修善寺の大患」以後の作品は何か。

イ　虞美人草
ロ　三四郎
ハ　坊ちゃん
ニ　明暗
ホ　吾輩は猫である

その7　永井荷風の作品を選べ。

イ　暗夜行路　（志賀直哉・白樺派）
ロ　細雪　（谷崎潤一郎・耽美派）
ハ　濹東綺譚
ニ　夜明け前　（島崎藤村・自然主義）
ホ　李陵　（中島敦）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その８　日本の自然主義文学運動を代表する作家は誰か。

イ　尾崎紅葉　（硯友社）
ロ　志賀直哉　（白樺派＝学習院大の同人）
ハ　田山花袋
ニ　永井荷風　（耽美派＝芸術至上主義）
ホ　横光利一　（新感覚派）

その９　柳宗悦は、武者小路実篤・志賀直哉らと同人誌を創刊し、人道主義的な立場から芸術運動に携わった。その雑誌名を選べ。（もともとは選択肢なし）

イ　新思潮　（赤門派＝東大の同人）
ロ　白樺
ハ　歴程　（草野心平）
ニ　四季　（中原中也・三好達治など）
ホ　明星　（与謝野鉄幹・晶子など）

その10　俳句・短歌の革新者として知られる明治の文学者は誰か。（もともとは選択肢なし）

イ　夏目漱石
ロ　二葉亭四迷
ハ　坪内逍遥
ニ　正岡子規

また、その筆者の作品を選べ。

イ　赤光　（斎藤茂吉）
ロ　墨汁一滴
ハ　みだれ髪　（与謝野晶子）
ニ　海潮音　（上田敏の訳詩集）
ホ　若菜集　（島崎藤村のデビュー作）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その11　森鷗外の作品を三つ選び、成立の早い順に並べよ。

イ　浮雲　〔二葉亭四迷〕
ロ　雁
ハ　三四郎　〔夏目漱石〕
ニ　渋江抽斎　〔鷗外晩年の史伝〕
ホ　舞姫　〔鷗外二八歳の作品〕

（ホ・ロ・ニ）

その12　「山路を登りながら、こう考えた。智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ。とかくに人の世は住みにくい」ではじまる、夏目漱石初期の作品名を選べ。（もともとは選択肢なし）

イ　草枕
ロ　明暗　〔未完の遺作〕
ハ　三四郎　ニ　それから　ホ　門　〔前期三部作〕

その13　松尾芭蕉の臨終場面を描いた小説『枯野抄』を書いた大正期の作家は誰か。（もともとは選択肢なし）

イ　芥川龍之介
ロ　田山花袋　〔『蒲団』『田舎教師』など〕
ハ　川端康成　〔ノーベル文学賞〕
ニ　大江健三郎　〔ノーベル文学賞〕

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その14　哲学者、和辻哲郎（わつじてつろう）の著作を次の中から二つ選べ。

イ　東洋の理想　（岡倉天心（おかくらてんしん））

ロ　日本への回帰　（萩原朔太郎（はぎわらさくたろう））

ハ　風土（ふうど）

ニ　出家とその弟子　（倉田百三（くらたひゃくぞう））

ホ　陰翳礼讃（いんえいらいさん）　（谷崎潤一郎（たにざきじゅんいちろう））

ヘ　鎖国（さこく）

ト　「いき」の構造　（九鬼周造（くきしゅうぞう））

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

政治経済学部　文学史（近代以降）予想問題の解答

その1　『あこがれ』『一握の砂』『悲しき玩具』などの詩集や歌集を残した近代の歌人は誰か。

イ　夏目漱石　　ロ　森鷗外　　**ハ　石川啄木**　　ニ　武者小路実篤

その2　夏目漱石の門下生で、『羅生門』『鼻』『芋粥』など日本の古典を下じきにした作品を書いた小説家は誰か。

イ　斎藤茂吉　　ロ　樋口一葉　　ハ　柳田国男　　**ニ　芥川龍之介**

その3　近代の文学理論書で言文一致を説いたものはどれか。

イ　『歌詠みに与ふる書』　　**ロ　『小説神髄』**　　ハ　『小説の方法』　　ニ　『「いき」の構造』

その4　日本人初のノーベル文学賞受賞者は誰か。

イ　川端康成　　ロ　湯川秀樹　　ハ　大江健三郎　　ニ　村上春樹

その5　「東海の小島の磯の白砂に／われ泣きぬれて／蟹とたはむる」などの短歌を収録した石川啄木の歌集はどれか。

イ　『智恵子抄』　　ロ　『道程』　　ハ　『春と修羅』　　**ニ　『一握の砂』**

その6　「のど赤き玄鳥ふたつ屋梁にゐて足乳ねの母は死に給ふなり」などの短歌を収録した斎藤茂吉の歌集はどれか。

イ　『赤光』　　ロ　『みだれ髪』　　ハ　『別離』　　ニ　『鍼の如く』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その7「鶏頭の十四五本もありぬべし」などの写生句で知られる正岡子規が創刊に関わった雑誌はどれか。

イ『文学界』　ロ『新思潮』　**ハ『ホトトギス』**　ニ『歴程』

その8　明治時代、夏目漱石の初期の作品で、「親譲りの無鉄砲で小供の頃から損ばかりしている」ではじまる小説はどれか。

イ『細雪』　ロ『それから』　ハ『こころ』　**ニ『坊ちゃん』**

その9　明治時代、森鷗外の作品で、ドイツ留学の経験をふまえた小説はどれか。

イ『渋江抽斎』　ロ『高瀬舟』　**ハ『舞姫』**　ニ『風土』

その10　大正時代、白樺派の志賀直哉によって書かれた自伝的な小説はどれか。

イ『城の崎にて』　ロ『蒲団』　ハ『蟹工船』　ニ『李陵』

その11　昭和初期、四季派に属する中原中也によって発表された詩集はどれか（二つ）。

イ『山羊の歌』　**ロ『在りし日の歌』**　ハ『一握の砂』　ニ『若菜集』

その12　日本人としては二人目のノーベル文学賞受賞者である大江健三郎の小説はどれか。

イ『沈黙』　**ロ『飼育』**　ハ『伊豆の踊子』　ニ『雪国』

その13　明治時代、雑誌「ホトトギス」に掲載された夏目漱石のデビュー作はどれか。

イ『吾輩は猫である』　ロ『三四郎』　ハ『明暗』　ニ『枯野抄』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

その14　大正時代、『今昔(こんじゃく)物語集』などの古典をもとにして、人間心理を表現した芥川龍之介(あくたがわりゅうのすけ)の作品はどれか。

イ『檸檬(れもん)』　ロ『山椒魚(さんしょううお)』　**ハ『鼻(はな)』**　ニ『風立(かぜた)ちぬ』

その15　川端康成(かわばたやすなり)の代表作で、「道がつづら折りになって、いよいよ天城峠(あまぎとうげ)に近づいたと思う頃」ではじまる作品はどれか。

イ『雪国(ゆきぐに)』　ロ『陰翳礼讃(いんえいらいさん)』　**ハ『伊豆(いず)の踊子(おどりこ)』**　ニ『或(あ)る女(おんな)』

その16　東北地方の農学校に勤めつつ多くの詩を残した宮沢賢治(みやざわけんじ)の童話はどれか。

イ『銀河鉄道(ぎんがてつどう)の夜(よる)』　ロ『暗夜行路(あんやこうろ)』　ハ『田舎教師(いなかきょうし)』　ニ『蒲団(ふとん)』

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。